



アジア模擬患者教育者国際学会2025

# 市民講座のお知らせ

テーマ：認知症の方の尊厳を支える看護教育  
～認知症の方が求めている支援から考える～

日時：2025年4月12日（土）

午前10時～12時

場所：金城学院大学

アニー・ランドルフ記念講堂

参加費：無料

## スケジュール

- 第一部 10:00～10:40 基調講演 認知症の方の尊厳を支える看護  
～認知症の方が求めていること～  
講師 土赤伸生様(愛知県認知症希望大使)  
伊藤篤史様(愛知県作業療法士会)
- 10:40～11:10 看護学生を交えたディスカッション



## 休憩

- 第二部 11:20～12:00 看護教育 認知症状のある高齢者への対応  
～認知症模擬患者（SP）とのコミュニケーション場面～

- ファシリテータ 金城学院大学看護学部 高齢者看護学  
福田峰子、松田武美、久保あゆみ
- 模擬患者教育者 金城学院大学看護学部 基礎看護学 阿部恵子

《主催》金城学院大学看護学部 基礎看護学  
AsiaSPEC学会 阿部恵子

《連絡先》 [asiaspec2025@kinjo-u.ac.jp](mailto:asiaspec2025@kinjo-u.ac.jp)

# 講師プロフィール

## ○ 土赤 伸生（つちあかのぶお）様 愛知県認知症希望大使

- ・長年、製造業の仕事に従事。
- ・58歳の時に、若年性アルツハイマー型認知症と診断。
- ・診断後も就労を継続し、60歳でいったん退職後も再雇用で2年間就労を継続。
- ・2024年4月に愛知県認知症希望大使を委嘱され、現在は認知症本人の集いの場に積極的に参加し、仲間と交流しながら、自身の思いを伝えたい気持ちをもって活動されています。
- ・認知症になった後、多くの方が助けてくれていることを実感され、誰かを助けたいと思われた。認知症の進行が怖かったこともあり、この先のことを考えるとじっとはできなかつた思いや認知症の人が集まる会で5分くらいしゃべる経験から、もっとやりたいという気持ちが芽生え、現在活動されています。
- ・自分の意志で何かをしているときは自分を保っていることから、「できるだけ頑張らない」という思いで日々生活されています。

## ○ 伊藤 篤史（いとう あつし）様

特定医療法人共和会共和病院 在宅介護事業部 活動支援課 認定作業療法士

- ・若年性認知症の方の通所介護の経験を踏まえ、現在認知症の方と生活を一緒に楽しむ支援を行っています。日々の関わりの中にある何気ないことで一緒に笑い合い、できることを一緒に思いっきり楽しむ事を大切にされています。
- 作業療法＝リハビリテーションですが、機能向上を目指すのではなく、今まで生きてきた生活を振り返りながら、人生の山を下りる支援（実り多き下山）をしていくことが認知症の人への作業療法と考えられています。生活のなかで大切にしている作業を通じて認知症の人が自分を取り戻し、地域社会のなかでの居場所を得て、人とつながっていく地域社会参加を実現しようと日々奮闘しながら活動されています。

